

ようこそ！魅力あふれる鷹島へ

—鷹島肥前大橋開通記念ウォーク—



鷹島肥前大橋開通記念ウォーク

「鷹島肥前大橋開通記念ウォーク」（松浦商工会議所青年部、鷹島町観光協会、肥前地域づくり実行委員会主催）が3月28日、本市鷹島町と唐津市肥前町を結ぶ鷹島肥前大橋と鷹島島内で開催されました。

このイベントは、4月18日に鷹島肥前大橋が開通することを記念し開催されたもの。市内外に参加を呼びかけたところ約3,200人が参加し、新しい橋の歩き初めを楽しみました。

参加者たちは、鷹島と肥前町の両側から同時にスタート。大橋の往復のほか、鷹島町内の元寇の史跡などをめぐる9^{キロ}、12^{キロ}の3コースに分かれ、鷹島を満喫しながら歩きました。

鷹島町にある道の駅「鷹ら島」につくられたステージ周辺では、地元保存会による元寇太鼓やよさこいダンスなどのイベントや、地元住民による物産展や海鮮バーベキューなども販売され賑わいを見せていました。



中世の松浦 (6)

文永の役(1274年)・弘安の役(1281年)を通して、松浦地方に割拠していた松浦党の武士たちの生々しい戦いの様子を伝える史料はあまり残っていません。現在まで残っている軍忠状などによれば、弘安の役(6月29日)に壱岐にいた元軍めがけて攻撃をかけた薩摩・筑前・肥前・肥後国の武士たちの中に、肥前国御家人山代栄・同志佐小次郎(祝)・志佐三郎入道(継)・有田深・平戸平五郎・大嶋通清など松浦党の武士たちが参加しています。

閏7月1日未明に、松浦地方一帯を大暴風雨が襲いました。鷹島周辺に集結していた元軍の船団は沈没したり、沿岸にたたきつけられたりして、壊滅状態になりました。閏7月5日の鷹島付近の残敵掃討戦の様子は「竹崎季長絵詞」に記載されています。この絵詞では肥後国守護安達盛宗・小式経資の弟景資なども戦功をたてています。他の文献では、筑後国香西度景や神山四郎などが、鷹島の西端雷崎の対岸の御厨千崎の海上で賊徒を討ち取ったと記載されています。7日には豊後国大神惟親が星鹿から鷹島に渡り、東浜(鷹島町船唐津免)で合戦に参加しています。この鷹島の合戦は、二度の元軍の来襲の合戦の中でも、唯一の日本軍の一方的な勝利の合戦でした。



▶ 昭和51年に移転建立された元寇記念之碑

フィオナ先生 (オーストラリア出身)

Trip to Mie ー三重への旅行ー

春休みに、親しくしているご家族から三重県へ一緒に行かないかとお誘いがありました。正直言って、三重県がどこで、何が有名なのかわかりませんでした。

福岡から飛行機で名古屋に向かい、松阪港から高速船に乗りました。松阪が三重県でも有名な場所だとは知りませんでした。松阪牛のことは知っていましたが。オーストラリアでは、多くの人々が松阪牛について聞いたことはあっても、食べたことがありません。実際に食べると本当に信じられないくらいおいしくて、特に刺身は最高でした。

最近世界遺産に登録された熊野地方にも行きました。4時間古道を歩いたところ、途中には険しい山から見える海など素晴らしい風景を見ることができました。この日は伊勢にそれほど遠くないところにある民宿に泊まり、伊勢海老など、地元でとれた食材を使ったおいしい料理をいただきました。

伊勢神宮では、夫婦岩と呼ばれる海の中の岩の上にある神社にも参拝しました。多くの人々が結婚生活の幸せを祈るために訪れるそうで、カエルの絵や置物がたくさんありました。これは夫や妻が出掛けても無事にカエルというこ

とで、とてもほほえましいと思いました。

最後の日は、ミキモト真珠島と鳥羽水族館へ行きました。水族館はとても大きくて、珍しい海の動物を見ることができましたが、最も楽しかったのは、たまたま行なわれていた入社式です。新入社員はスーツを着て、ゴーグルと酸素マスクをつけ、水槽の中で証書を手渡されていました。私はこの光景が信じられませんでした。とてもおもしろかったです。

三重県には興味深いところや楽しいことがたくさんあり、おいしい食べ物もたくさん食べました。最後に連れて行ってくれたご家族にお礼を言います。お世話になりました。

